

# 健康長寿に係る先進的な取組事例

## 羽生市

### ～羽生市健康チャレンジ事業～

#### (1) 取組の概要

羽生市では市民一人ひとりが笑顔あふれ、楽しく心豊かな生活を送るために、そして生涯を通じて健康であるよう「生涯を 笑顔で楽しく 健康に！」を基本理念に掲げ、羽生市健康づくり計画を策定し、自主的な生活習慣改善と継続して健康づくりに取り組めるような環境作りを目指して、平成 26 年から本事業を実施している。

この事業は、特定健診や各種がん検診、体力づくり、健康講座、介護予防事業等の対象事業へ参加した者に対してポイントを付与し、そのポイントの合計が基準を満たした場合に記念品を交付することにより、市民一人ひとりが実践的に健康づくりに取り組むよう動機付けを行うとともに、市民の健康に関する意識向上を図り、正しい生活習慣を身につけることを目的としている。

#### (2) 取組の契機

##### (ア) がん検診受診率の低迷

羽生市のがん検診受診率は、県内でも低い水準にある。

死因の第 1 位が悪性新生物という事もあり、受診率向上対策の必要性は高い。

がん検診受診率(平成 24 年度) 【表 1】

	羽生市	県平均	63 市町村中順位
胃がん	1.9	6.1	57
乳がん	9.8	18.6	58
子宮頸がん	8.8	21	60
肺がん	2.4	17.5	62
大腸がん	11.2	20.4	50

##### (イ) 健康寿命の延伸

羽生市の男性の健康寿命は県平均を下回っており、羽生市健康づくり計画では、健康寿命の延伸も課題となっている。市民が健康寿命を伸ばすためには、壮年期(40 歳～64 歳)から健康的な生活習慣を身につけ、実践することが重要である。

##### (ウ) 医療費の抑制

医療費抑制のためには、国保・後期高齢者医療制度の健全な財政運営の観点からも、市民の健康づくりに対する意識改革をすすめ、行動変容を促す仕組みづくりが必要である。

### (3) 取組の内容

【表2】

事業名	羽生市健康チャレンジ事業
事業開始	平成26年度
	平成30年度
予算	705,000円 ・達成賞 500,000円 ・シート印刷 162,000円 ・PRポスター 43,000円
参加人数	300人(目標) ※217人(H29実績)
期間	H30.6月～H31.3月

#### (ア) 3つのチャレンジ

##### ①マイチャレンジ

健康に関する目標を立てて毎日取り組むことで、ポイントを獲得する。  
期待する事業効果 健康意識の向上と健康行動の変容。

##### ②健(検)診チャレンジ(必須)

特定健康診査等の健診の受診とがん検診受診で、ポイントを獲得する。  
期待する事業効果 受診率の向上と疾病の早期発見。

##### ③イベントチャレンジ

市が開催する健康関連事業に参加して、ポイントを獲得する。  
期待する事業効果 関係各課の事業参加率向上と健康行動の変容。

※①～③の獲得ポイントが、50ポイントに達すると商工会の商品券(1,000円分)と交換可能。

#### (イ) 対象事業の検討(平成30年4月～5月上旬)

庁内の関係各課に事業内容を説明し、協力を要請する。  
各課の健康関連事業のチャレンジ事業を決定する。

#### (ウ) 記録シートの作成(平成30年5月中旬)

チャレンジシート及びPRポスターの作成。  
健康チャレンジ目標、健(検)診ポイント、イベントポイントを記入する健康チャレンジシートの作成。

#### (エ) 事業の周知(平成30年6月上旬)

市民への周知として、広報、ホームページに事業内容を掲載し、チャレンジシートを全戸配布する。

(オ) 事業への取組（平成 30 年 6 月中旬～平成 31 年 3 月上旬）

チャレンジ事業を開始し、市民のチャレンジ事業への参加を開始すると同時に、各事業会場でチャレンジ事業のPRを行う。

(カ) 引換期間（平成 31 年 1 月中旬～3 月中旬）

ポイント達成者からチャレンジシートの提出を受けて、貯めたポイントを商品券と交換する。また、アンケートを記入してもらう。

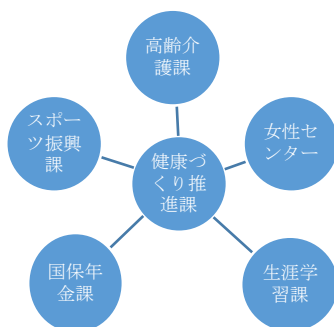
(キ) 事業評価（平成 31 年 1 月～3 月）

アンケートの集計、マイチャレンジ達成者数、がん検診の受診状況、関連事業の参加者状況等から事業の評価を行う。

(ク) 取組の体制

健康づくりに対する市の方針を、市民に広くPRし、市民の健康寿命の延伸に全庁的に取り組むため、食生活改善推進員や羽生市地域介護予防サポーター、スーパー健康長寿サポーター等に運営協力いただき、関係各課の事業をチャレンジ事業と結び付けて実施する。

関係課：国保年金課、スポーツ振興課、高齢介護課、生涯学習課、女性センター、健康づくり推進課



(4) 取組の効果

(ア) 生活習慣の変容

取組後のアンケート調査によると、「自分の健康や医療費を気にするようになった」「運動などを続けていきたいと思う」「出かけることが楽しくなった」「いろいろな人と知り合えた」「健康に関心を持つきっかけとなった」等、事業が健康づくりのきっかけとなり、行動変容につながっていることがうかがえる。

(イ) がん検診の受診率の向上

取組の契機となった平成 24 年度のがん検診受診率と比較して、下記の表のとおり大腸がん以外の検診において、受診率の上昇がみられる。

がん検診受診率(平成 28 年度)

【表3】

	羽生市(H24)	羽生市	県平均	63市町村中順位
胃がん	1.9	5.4	6.9	36
乳がん	9.8	19.1	16.6	23
子宮頸がん	8.8	13.2	14.9	39
肺がん	2.4	3.7	7.1	50
大腸がん	11.2	8.1	8.8	42

## (5) 成功の要因、創意工夫した点

### (ア) 参加者自身が目標を決める

参加者が自分に合った目標を掲げることにより、自主的に、無理なく取り組めるのではないかと考える。また、個人の取り組みに高ポイントを配分することでポイント達成しやすく、継続して取り組むことができるようにした。

### (イ) ポイントの交換品

ポイント達成時の交換品を羽生市の商品券とすることで、地域活性化の一助となり、また誰もが利用できるため参加の動機ともなっていると考える。

### (ウ) 検診会場や講座での PR

集団がん検診の会場や講座等で直接 PR することにより、事業への理解がより深まり、参加者の増加につながっていくと考える。

## (6) 課題、今後の取組

### (ア) 医療費抑制効果が見えにくい

医療費抑制の効果は短期的検証では難しいので、国保担当課と協議・検討しながら、長期的に検証していく。

### (イ) 参加者数の伸び

平成 29 年度のアンケート結果によると、約 3 割が新たな参加者であるが、過去 3 年間の参加者数はほぼ同数である。このことから、できるだけ参加者が継続して取り組んでいけるよう、新たな仕組みを考える必要がある。また、表 4 の関連事業を更に周知することで参加者の増加につなげたい。

